土壌からの PCR 実施例

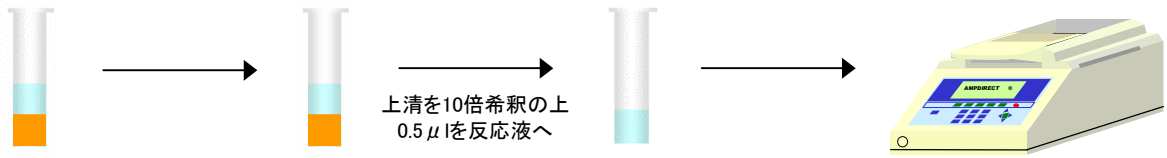
各種PCR阻害物質の影響を抑える作用を持つ Ampdirect® (Buffer)とBIOTAQ™ (推奨酵素)を使用して土壌からのPCRを行いました。
⇒DNA精製操作は不要となり、簡便なPCRが可能となります。

溶解液	Final
Tris･HCl pH8.0	20mM
EDTA	5mM
NaCl	400mM
SDS	0.3%
Proteinase K	200μg/ml

⇒1mLの溶解液に土壌500mgを添加。
良く攪拌の上、55℃･1時間インキュベート。

反応液（20μl系）		
2x Ampdirect® plus	10μl	10μl
BIOTAQ™	0.5U	0.5U
primer(rDNA領域)	各0.5μM	
primer(plant)		各0.5μM
Distilled Water	up to 20μl	

PCRプログラム	
	95℃, 10min
40 cycles	94℃, 30sec
	57℃, 60sec
	72℃, 90sec
	72℃, 7min

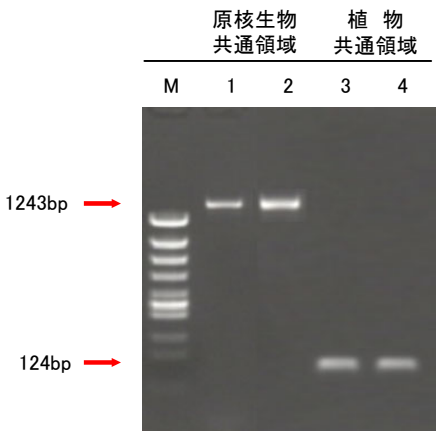


土壌の溶解液処理
(ﾎﾞﾙﾃｯｸｽ＋55℃ ･1時間)

95℃･5分間
(Proteinase Kの失活)

反応液調製

PCR



	土壌採取場所	増幅領域
1 :	森林	原核生物共通領域
2 :	畑	〃
3 :	森林	植物共通領域
4 :	畑	〃

株式会社 島津製作所 分析計測事業部 バイオ･ 臨床ビジネスユニット http://www.shimadzu-biotech.jp/
〒604-8511 京都市中京区西ノ京桑原町 1 TEL:(075)823-1351 FAX:(075)823-1364